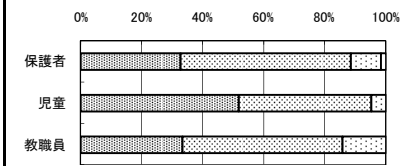


■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

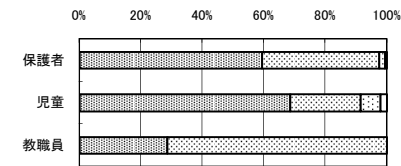
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



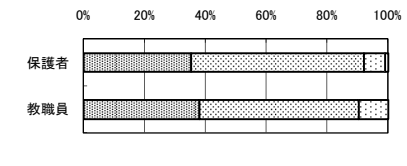
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

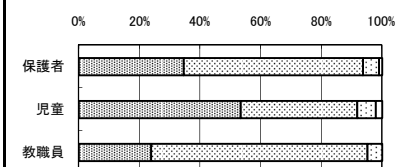


【学校から】1について、今年度は「見前、健東」を合言葉に、「いのち」を真ん中にすえてスタート。学校朝会をはじめPTA総会、学校便り等で発信がなされ、昨年度よりポイントがアップしている。2について、子どもたちのほとんどが楽しい学校生活を過ごしていると答えているのありがたい。しかし、児童の8%、保護者の2%がそうでないと答えている事実をしっかり踏まえ、早急に原因を探り、改善に取り組む。また、子どもたちの生活の様子や言動を常に把握しながら、すべての子どもにとって楽しい学校になるよう、努めていきたい。

教科指導

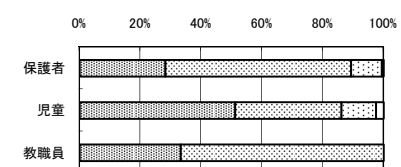
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

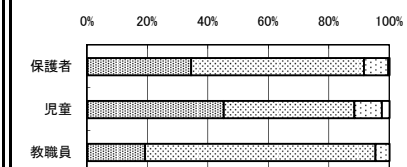
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



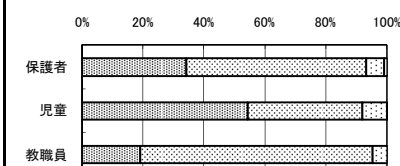
【学校から】4、5から、学習に対しては、児童は積極的に取り組み、また、楽しいと感じている。保護者からも評価をいただいている。教職員に関しては、楽しい授業をめざして全員が努力している。また、授業づくりの工夫について、さらに互いに切磋琢磨して、よりよい授業を目指していきたいものである。

【学校から】三者とも、意欲的に取り組んでいると答えている。内容についての工夫・改善が行われてきた結果だと考える。今年度から始まった、5年生の稲作体験もさらに深めていきたい。

道徳教育 心の教育

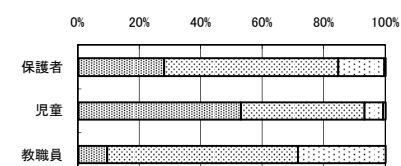
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にすする心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

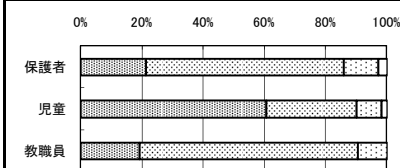


【学校から】道徳教育等の充実については、子どもの数値が高い。これからも体験活動やいろいろな人との交流を通して、道徳・心の教育の充実に努めていきたい。あいさつについては、日頃から呼びかけをしている。委員会の立ち番あいさつを中心に、2学期よりあいさつ点検表を月末に行い、自己点検を行いながら、あいさつの向上を図ることができた。幼保小中連携の折、東町中学校区の共通実践となるよう、提案を行った。また、登校中の子どもたちに、声掛けをしてくださる地域の方の姿も見られるようになった。これからも、校内の活動を校外の活動へとつなげていきたい。

人権教育

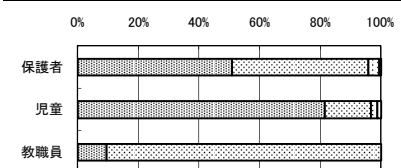
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていますか。



10 友だちへの思いやり

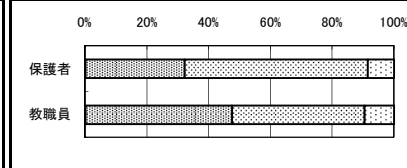
子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



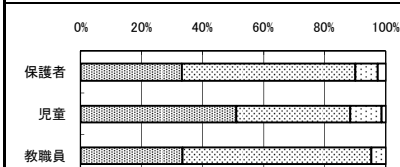
【学校から】9については、職員会議前の子ども理解の時間を設定して、児童に対する共通理解・実践ができるように努めている。「みつめる週間」を今年から2回実施し、児童の話じっくり聞く場をもち、理解に努めている。10について、けんかの事例が少なく、集会活動やなかよし週間等を通して、異学年とも交流する場があり、学年を超え、学校全体で仲良くする様子が見受けられる。

【学校から】特別支援コーディネーターを中心に、支援を必要とする児童への対応を支援委員会で話し合い、週ごとに支援体制を組んで対応している。

生徒指導 教育相談

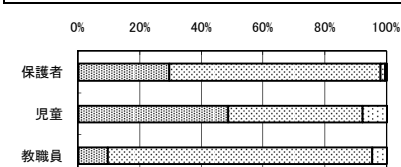
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



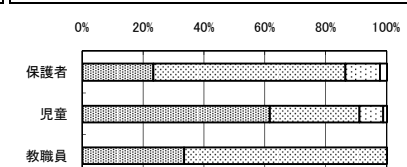
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



【学校から】生徒理解については、職員会議の冒頭に子ども理解の時間を設定したり、アンケートを基に「みつめる週間」を設定したりして、子ども理解に努めている。規範意識については、保護者に比べ、教職員の値が低く、決まりを遵守できない傾向にあると捉えている。きまりはきまりとして遵守する態度を身につけさせたい。いじめ問題については、教職員はおおむね対応していると考えているのに対して、児童・保護者の値は低い。どこにその原因があるのか、しっかり把握し、子どもが安心して過ごせる学校にしていく。

健康教育 安全		学校行事
15 安全と事故防止 学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。 	16 体力向上 子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。 	17 学校行事への参加と工夫 学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。
【学校から】 15について、おおむね理解を得られているが、5%の保護者がなんらかの不安を感じている。安心・安全な学校を目指して努力していく。16について、学期ごとのスポーツイベントや3分間走など、子どもの意欲づけができ、運動への積極的な参加が見られるようになった。保護者の15%が、マイナスの評価、これは児童とも同じ割合を示しており、工夫が必要である。		【学校から】 運動会を今年度は秋に実施した。児童の成長もあり、より充実したものになった。さらに、種目と時間について工夫していきたい。

学校環境		
18 環境の整理・美化 学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。 	19 施設・設備の安全管理 学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。 	【学校から】 保護者の数値が教職員の数値を大きく上回った2項目である。かなり整備されていると捉えてくださっている。環境予算の削減から、花の苗は種から育てている。将来的には、教師の手から子ども自らが作るようになってほしいと思う。緑の時間が定着し、校内が季節の折々の花で飾れるよう計画的に取り組んでいきたいと思う。19について、腐葉土置き場を完備させる。遊具については、職員での点検だけでなく、年に1度は専門業者による点検も受けるべきだと考える。

情報の公開・発信		家庭・地域との連携
20 学校の予定等がわかる情報発信 学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。 	21 教育活動への参加 学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。 	22 家庭や地域との連携協力 学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
【学校から】 20, 21について、どちらも保護者より教職員の評価が低い。学級・学年便りの内容の工夫・充実ならびに、定期的なホームページの更新を図りたい。教育活動の協力については、保護者がより活動に参加しやすい日程、内容の工夫、さらに雰囲気づくりに努めていきたい。		【学校から】 保護者の13%が、連携が図られていないと感じている。校区におられる人材の掘り起こしや活用はもちろん、学校側からも校区の行事やPTA活動に積極的に参加する回数を増やす努力がまず必要かと思われる。

(学校独自)
23 体力向上 あなたは、日常の体育の授業を、子どもの実態に応じて工夫して行っていると思いますか。
【学校から】 教員や学習カードの工夫を積み重ね、体力が向上するよう支援していく。日頃の声かけが児童の意欲につながる。体育の授業と日頃の遊びをうまく結びつける（生活化）工夫をする。

(学校独自)
24 0 0
【学校から】

(学校独自)
25 0 0
【学校から】

来年度の具体的な取り組みについて
「見前、健康」の合言葉のもと、学校教育目標「活力と学力の育成」の達成に向けて、以下のことに取り組む。 <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもがやってよかったと思う1時間の授業をさらに実現させるために、教材を開発したり、体験活動を有効に導入する。 2 体力向上を図るために、「夏の水泳」「冬の持久走」の指導を強化する。 3 保護者の思いをより広く知るために、積極的に職員が保護者にあゆみよる姿勢を一層強める。 4 子ども心にひびく本物の体験活動を本校に構築することで、道徳教育、心の教育の成果を評価していく。 5 子どもを守るための環境整備や安全に対する指導を強化する。 6 東町中校区全体（幼保小中連携）の取組として、あいさつ運動を展開し、あいさつのひびく活力ある町をめざして、子どもから発信していく。

学校関係者評価

- ・本年度の健軍東小学校は、「見前、健東」をキーワードに、児童、保護者、教師、さらに地域と一体となって、「いのち」の大切さをもう一度考え直すように取り組んできたことは高く評価します。今後は、上級生から下級生へ、地域から子ども達へ、自然に「いのち」の大事さが共有できるような環境・雰囲気形成されるよう、このような取組や活動が継続されていくことを期待しています。
- ・この地域の子どもたちにとって、稲作や稲刈りの体験は、たいへん望ましいことだと思います。
- ・昨年に比べ、子どもたちのあいさつの声が大きく、表情にも明るさが増しているように感じます。
- ・環境美化については、年を追うごとに整備され、校内が美しくなったと思います。
- ・昨年に比べ、子どもたちのあいさつの声が大きく、表情にも明るさが増しているように感じます。
- ・校区や地域の行事に先生方の参加が増えていることをたいへんうれしく感じています。子どもたちはもちろん、保護者も授業以外で先生方と交流できることは、より親近感がわき信頼度も高まると考えますので、これからの取り組みに大いに期待しています。
- ・友達への思いやりについて、先生方と子どもたちの評価の差は何でしょう。子どもたちがもっている意識と表現のちがいののでしょうか。大事な問題なので、ぜひ考えてみたいです。
- ・生徒理解について、子どもたちの中に「理解してもらってない」と感じている子どもがいることを、先生方は気付いておられるのでしょうか。先生方のとても忙しい現状を根本的なところから見直す必要があると感じています。
- ・教科学習や道徳教育の評価については、評価項目の内容を細分化し、教師及び子どもが評価しやすく達成感が味わえ、喜びを感じられるような工夫があれば…と感じます。